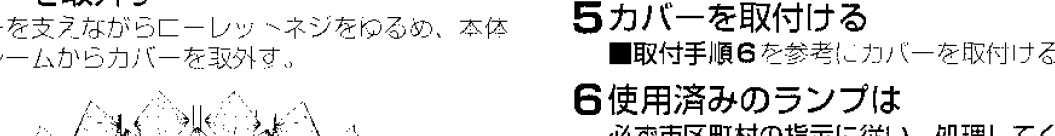


△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

- 1 電源を切る**
- 2 カバーを外す**
カバーを支えながらローレットネジをゆるめ、本体のフノームからカバーを外す。
- 3 古くなったランプを外す**
- 4 新しいランプを取付ける**
ランプの取付けは丁寧に、確実に
行なってください
落下によるけがの原因になります。
※白熱ランプは使用できません。
- 5 カバーを取付ける**
■取付手順6を参考にカバーを取付ける。
- 6 使用済みのランプは**
必ず市区町村の指示に従い、処理してください。



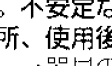
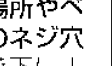
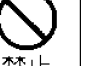
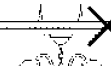
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものでの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・変色の原因になります。

施工取扱説明書

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、止しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。		
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	下図のような配線器具の場合、取付けできません。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電気店に依頼してください。 ●破損している  ひび割れ 欠けている ●電源端子露出形  ガラスや ガタツト ●電源端子露出形  電源端了
	 禁止 このような場所には取付けないでください。この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。→器具の落下によるけがの原因になります。  傾斜天井  壁面  補強のない場所	 禁止 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
	 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 厳守 電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電気店に修理を依頼してください。→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。	 厳守 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電気店にご相談ください。
	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。	

 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
 禁止	ライトコントロールなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放電すると、火災・感電・故障の原因になります。
	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。		

<保証について> 1 取扱い時、お客様が手へりなどの誤りにより発生した故障は保証対象外に被った場合には、無償修理させていただきます。 2 保証期間は、お買い上げ日より「本体」3年、「安定器・LED電源/LEDモジュール」3年です。 3 ライトユニットは、クローム加工品など特殊仕様のものは、対象外となります。 4 24時間対応は、24時間以上の修理が必要な場合は、お客様の都合となります。 5 保証期間中も次の場合は保証として対象外とさせていただきます。 ・自然・外力等及び火災等による故障、または、地震・洪水等による故障及び修理 ・お客様の誤り、使用の誤り、その他の使用上の誤り等による故障及び修理 ・改造・改修等による故障及び修理 ・修理に必要と認められた場合に、修理費用及び出張費・運送費・お宅への入居する費用等不具合 ・その他、お客様自身で取られるべき注意を怠らなしたことによる故障及び修理 6 保証期間及び保証を受けるには、必ず「保証書」の内容に準って提示の正しい報告 7 保証期間が満了いたしましたら、大切に保管してください	<アフターサービスについて> 1 保証期間中に、故障が起きた場合は、お客様をまず、お買い上げの販売店へご連絡をお願いいたします。 2 保証期間が満了しているときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。状況によって修理が無料できる場合は、お客様によりお修りさせていただきます。 3 購入した商品に不具合に等しい部品や修理の必要と認められるアフターサービスセンターにて修理させていただきます。 4 弊社は、お客様の故障の修理に必要と認められる部品を保有しています。修理期間とは、その部品の入手を待つ期間を含め、必要な部品が到着する期間には、修理期間を算入する場合があります。お問い合わせは、お買い上げの販売店へ、または、お近くの「イスタット」お客様サービスセンターへおかけください。 なお、本資料に記した対象、条件のもとにおいて保証をお約束するものではありません。また、お買い上げの販売店、お客様の状況により、保証を受けることができない場合があります。お買い上げの販売店へ、または、お近くの「イスタット」お客様サービスセンターへお問い合わせください。
---	---

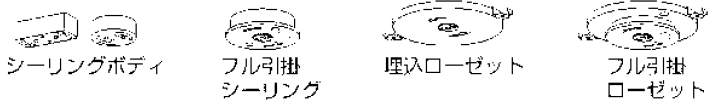
■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AP49298L	AC100V	0.42A	24.0W	1 DC4-F17×6

■取付前の確認 △警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている配線器具が確実に固定されているか確認する。

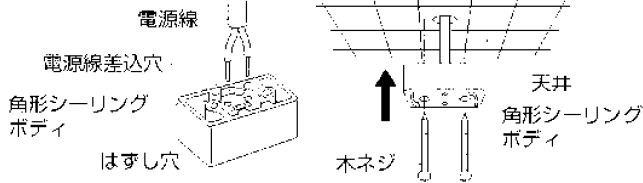


2 配線器具がついていない場合

付属の角形シーリングボディを木ネジで天井に確実に取付ける。

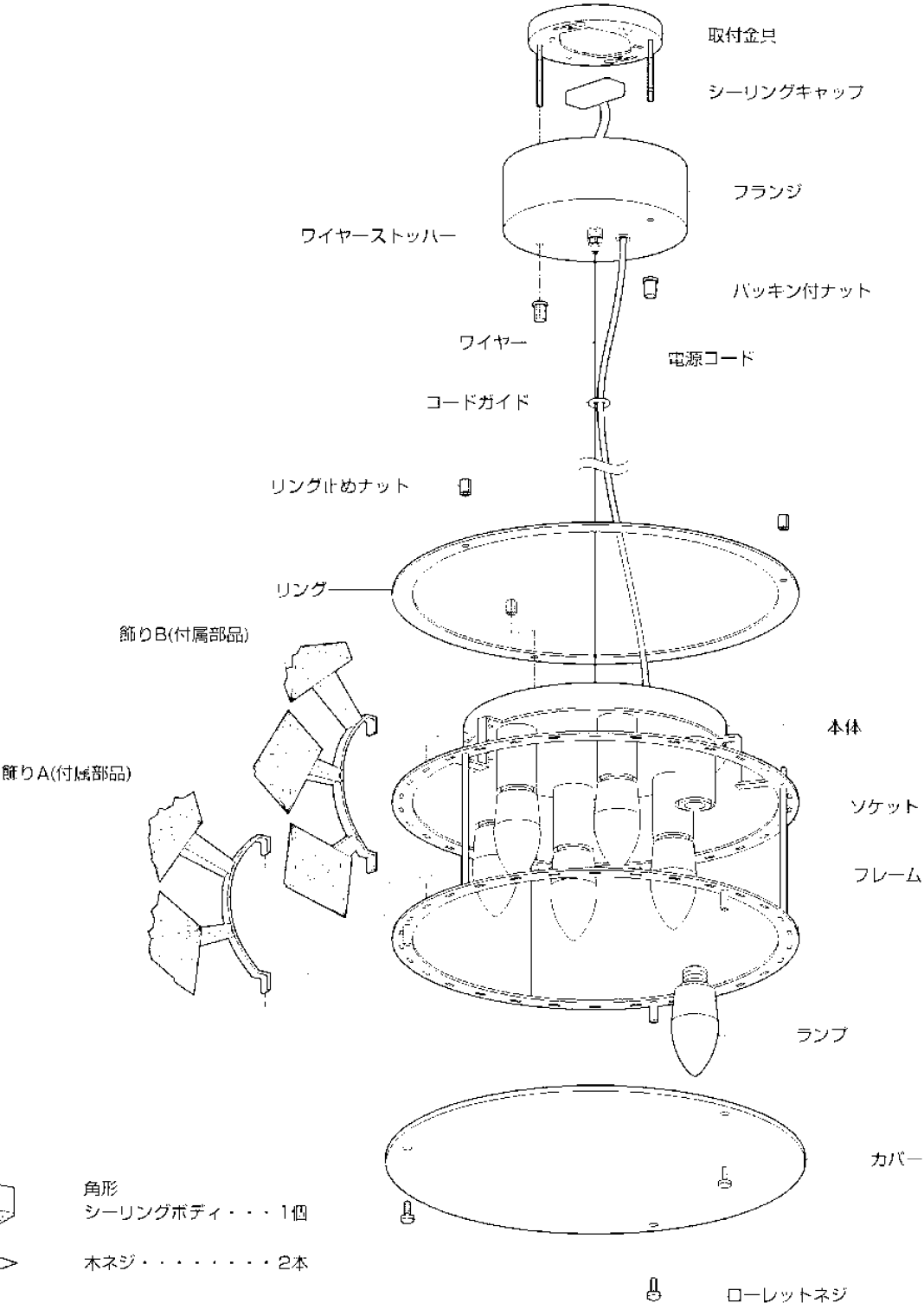
3 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。変色やサビの原因になります。



■取付手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



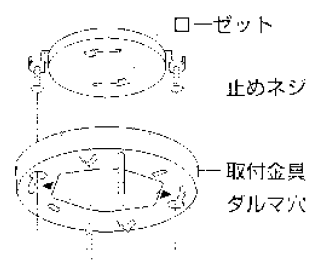
〈付属部品〉

- 角形シーリングボディ・・・1個
- 木ネジ・・・・・・・・・・2本
- 取付ネジ・・・・・・・・・・2本
- 止めネジ・・・・・・・・・・2本
- 飾りA・・・・・・・・・・15個
- 飾りB・・・・・・・・・・15個

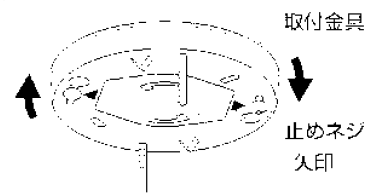
1 取付金具を取付ける

<ローゼットの場合>

取付金具のダルマ穴をローゼットの止めネジに合わせる。

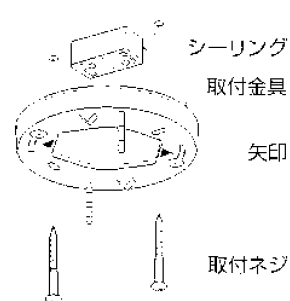


取付金具の矢印(◀▶)を止めネジに合わせて締め付ける。

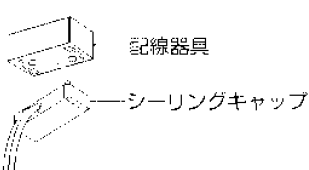


<シーリングの場合>

取付金具をシーリングに合わせ、取付ネジで取付ける。

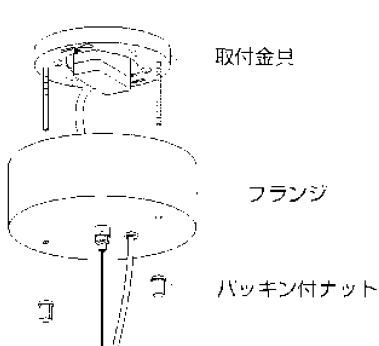


2 シーリングキャップを接続する



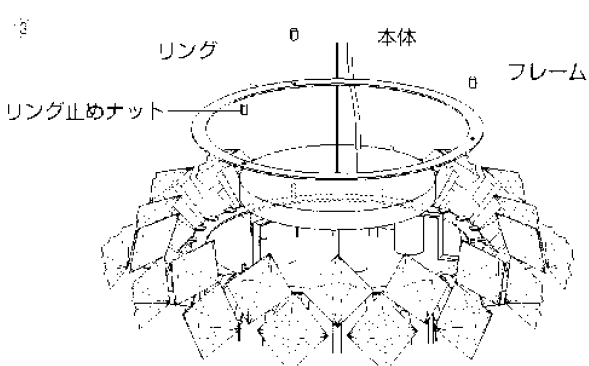
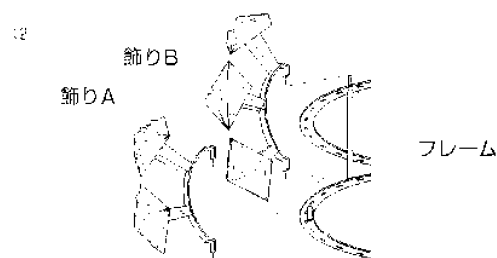
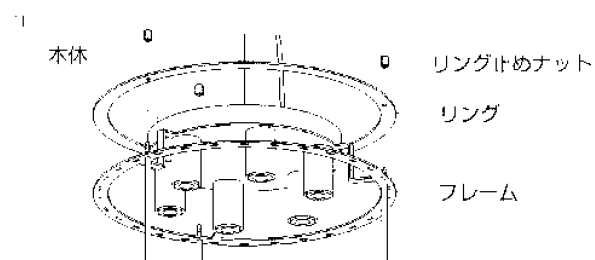
3 フランジを取付ける

フランジを取付金具に合わせ、ハッキン付ナットで取付ける。



4 飾りA・Bを取付ける

① リング止めナットをゆるめ、リングを本体のフレームから取外す。
② 飾りA・Bを交互に本体のフレームにはめ込む。
③ リングを本体のフレームに合わせ、リング止めナットで取付ける。

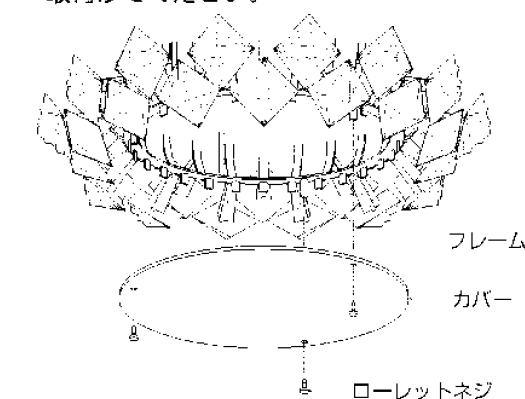


5 ランプを取付ける

6 カバーを取付ける

カバーを本体のフレームに合わせ、ローレットネジで取付ける。

※カバーには表裏があります。消し面を外側にして取付けてください。



7 点灯の確認を行なう

■器具の高さ調整について

●電源コードの長さはワイヤーより短くしないでください。(電源コードで器具を吊らないでください。)
破損・落下によるけがの原因になります。

1 電源を切る

2 ワイヤーと電源コードを調整する

<ワイヤーを短くする場合>

① ワイヤーをワイヤー ストッパー に押し込む。
② 余った電源コードをフランジに押し込む。

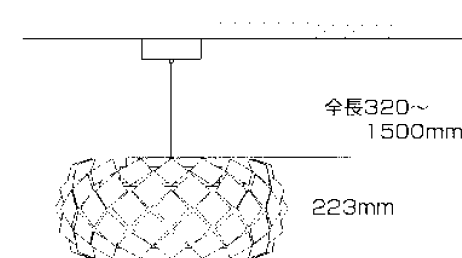
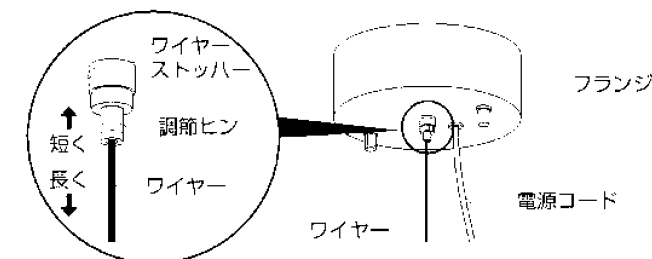
<ワイヤーを長くする場合>

① 電源コードをフランジから引き出す。
② 調節ピンを押し込みながらワイヤーをワイヤー ストッパー から引き出す。

※必ず本体を持って行なってください。

破損・落下によるけがの原因になります。

※ワイヤーの調整ができない場合は、工事店・電器店に依頼してください。



■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は5個までとしてください。壁スイッチを6個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。